



令和6年度対エルサルバドル共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「サンタアナ区ポルテスエロ村エル・ミラドール地区上水道 施設整備計画」引渡し式の開催

2026年7月31日、前田慎司参事官は、グスタボ・アセベド・サンタ・アナ中央市長、ロベルト・ビジャコルタ・ワールドビジョン代表、イサベル・レムス・エル・ミラドール村落開発協会長、そして、地域住民たちと共に「サンタアナ区ポルテスエロ村エル・ミラドール地区上水道施設整備計画」の引渡し式に参加した。この新しく建設された上水道施設により、地域の107世帯と初等学校に飲料水が直接かつ安全に供給される。

新しく建設された上水道施設により、コミュニティの107世帯と初等学校に飲料水が直接かつ安全に供給され、453人がその恩恵を受けることになる。コミュニティの多くの家庭には上水道が引かれていなかったため、洗濯や入浴といった日常生活、さらには水を飲むためにさえも日に2時間かけて川から水を運んできていた。



❖ エルサルバドルの国樹であるマキリシュアをエルサルバドルと日本の友好と協力の証として植樹した。

❖ サンタ・アナ区ポルテスエロ村エル・ミラドール地区上水道施設での開栓。

日本大使館はこうした状況を踏まえ、草の根・人間の安全保障無償資金協力（APCS）を通じて、健康と福祉において同国で最も問題を抱えるコミュニティを対象にエルサルバドル人の生活の質の向上に貢献することを目的としている。大使館は本計画を遂行するにあたり109,330米ドルを供与し、貯水タンクの建設、給水管(879.40 m)および配水管(2,630.90m)の敷設、フィルター室の建設とその設置、揚水ポンプ機材と水圧調整バルブ、および変圧器の設置、施工監督や外部監査の代金に使用された。

国際NGOワールドビジョンからは39,301.21米ドルの供与を受け、7.5馬力のポンプ、送水管(879.40 m)と配水管(2,630.90 m)、家庭向けの止水栓と水道メーター(109ユニット)、変電設備、井戸敷地の擁壁、フェンス、管理小屋のための資材の購入、詳細設計書の作成、看板と記念プレートの設置を支援した。コミュニティからは住民が非熟練工として工事に参加し、給水管と配水管の設置、各戸レベルの配水管接続と水道メーターの取り付けを行い、その額は33,006.98米ドル相当に上った。

最終的に本案件の総額は181,638.19米ドルとなった。

我々は、住民の皆さんが水を運ぶために毎日約2時間歩かなければならなかったこと、できるだけ多く新鮮な水を手に入れるため午前1時から2時に水を汲んでいた方もいることなど、多くの困難があったことを知っている。このプロジェクトで少しでも皆さんの生活が楽になることを願っている。水へのアクセスは人間の権利であり、すべての人に水が届くべきである。

この成果は、健康や家庭経済を改善するだけでなく、コミュニティの尊厳とより良く生きる権利を確認することにもつながる。1990年以降、「誰1人取り残さない」というスローガンの下に、日本はエルサルバドルのコミュニティ開発に貢献してきており、この国でコミュニティプロジェクトを459件実施し、4,000万ドル以上を投資した。一番大切なことは日本の支援だけではなく、エルサルバドルのコミュニティの自助努力精神である。

これからの課題は受けた恩恵を大切にすることであり、システムの透明で効率的な管理を続けインフラの良好な維持を確保し、コミュニティとその上水道委員会の参加を強化することで、時間をかけて持続可能性を保証することが大切である。規則を守り運営や維持に貢献するお互いの責任でサービスが長続きし、より良くなるであろう。



ワールドビジョンの皆さん、日本の皆さん、そしてコミュニティの皆さんに感謝したい。また、井戸用にと土地を寄付してくれたロベルト・ラモスさんにも感謝する。この素晴らしいプロジェクトをサポートしてくれたコミュニティには心から感謝している。コミュニティの人々も皆感謝しており、このプロジェクトの完成を見るにつけ感動している。



責任あるコミュニティと協力関係をもつことで大きな変革が可能となることをこのプロジェクトは示している。だからこそ、日本政府によるエルサルバドルへの信頼と取り組み、市役所によるサポートをありがたく思い、特別にコミュニティの皆さん全員に感謝を表す。

皆さんはこの成果の本当の主役であり、この水道システムは投資や技術支援だけで建設されたのではなく、皆さんの手助け、何よりもこのコミュニティを変えられるという夢のおかげで可能となった。

しかし、これはただの重要な一段階に過ぎない。これからは水システムの持続可能性、水資源の保全、そしてたとえば農業分野といった、この水により拓かれる機会について話し合う必要がある。我々ワールド・ビジョンとしても、今上水道が引かれたことで、子どもたちがより良い未来、子供たちに値する未来を迎えられるように様々な機会を一緒に見ながらつぎの段階に進んでいきたい。



在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施している案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に国内で最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みるものです。